

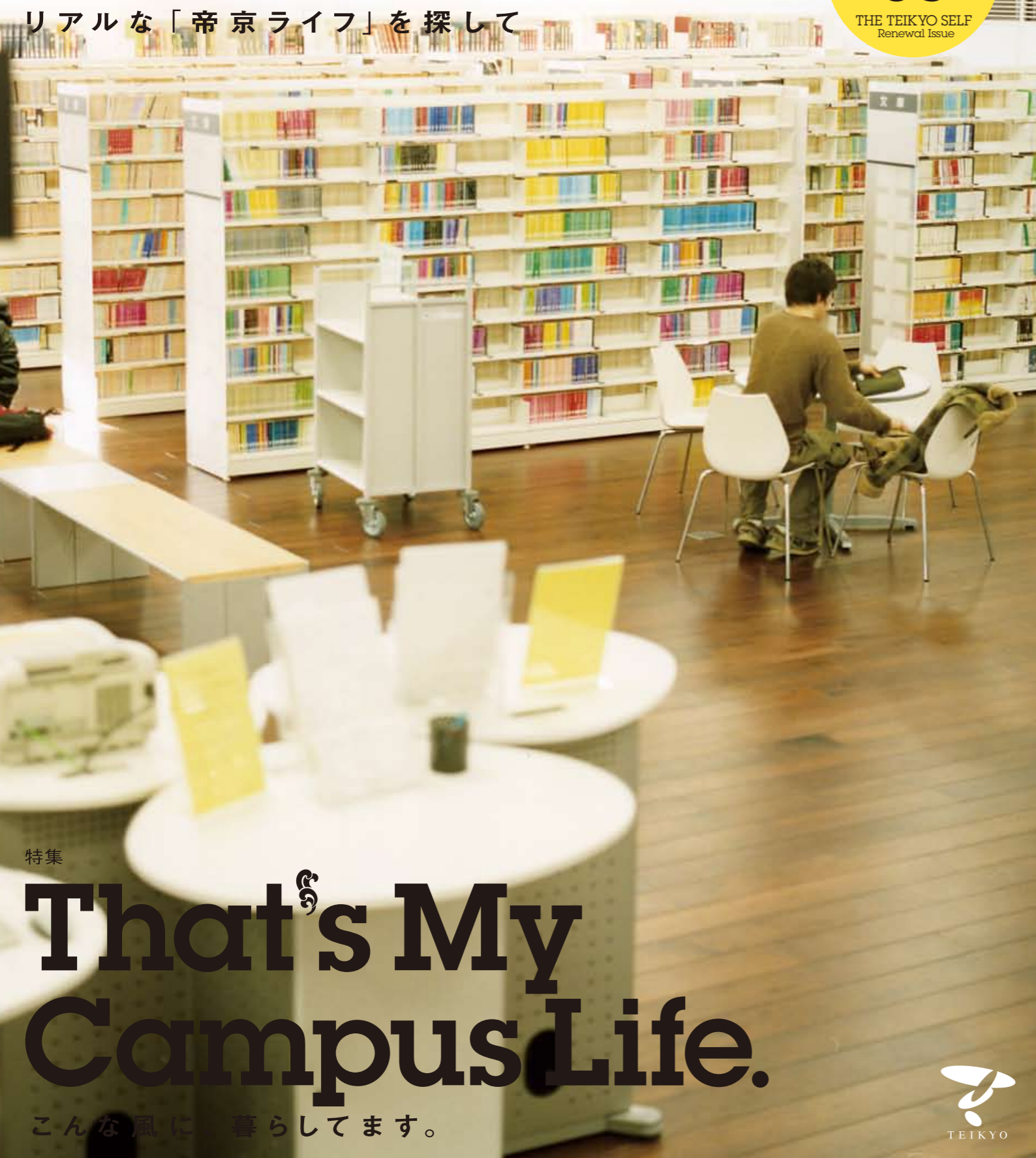
Floair

Magazine of Teikyo
Alternative Life

[フレア]
新創刊
TAKE FREE

April.2007・Spring
Vol.
65
THE TEIKYO SELF
Renewal Issue

リアルな「帝京ライフ」を探して



www.teikyo-u.ac.jp/theteikyo/



特集

That's My Campus Life.

こんな風に暮らしています。



発行月：2007年4月 年4回発行 発行：帝京大学入学本部入試広報グループ 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL 03-3964-3073 FAX 03-3964-3175 E-mail:post@med.teikyo-u.ac.jp
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp/theteikyo/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。 © 帝京大学 2007 禁・無断転載



Flair

April.2007
Spring Vol.65

2006年9月に新設された、
八王子キャンパスの帝京大
学メディアライブラリーセ
ンター（通称MELIC）にて。

CONTENTS



03 That's My Campus Life.

こんな風に、暮らしています。

09 Good Fellows.

やっぱり仲間が、一番です



11 Good Health.

やっぱり健康が、一番です



12 What's Up?

いま、何やってる?

13 Notice Board

大学からのお知らせです

Hello!!

MY TEIKYO

NAME IS

<http://www.teikyo-u.ac.jp/theteikyo/>

Flair.

Self to Flair. “Self”は変わります。

65号目を迎えた「Self」は、今回「Flair」としてリニューアル創刊いたしました。
新しい誌名の「Flair」とは、才能やひらめき、センスなどを意味しています。
毎号、この大学を取り巻くさまざまな人々のリアルなライフスタイルをクローズアップしながら、
たくさんの才能やひらめきとの出会いを通して、本当の意味での「帝京スタイル」を探っていきます。
Self to Flair —
大学生活をもっと楽しく過ごすためのヒントが満載された情報誌「Flair」、
今後ともよろしくお願いいたします。



That's

こんな風に、暮らしています。

学生はもちろんのこと、教授や職員、学食スタッフや図書館スタッフ…。
この大学に集まるたくさんの人々の、それぞれの日常、そしてそれぞれの想い。
いいこと悪いこと、毎日色々なことが起こるけれど、それでも誰もが
この場所を愛しています。心地よい陽が差し込むキャンパスを
ゆっくりと流れゆくスローな時間の中で、それぞれの想いが複雑に絡み合いながら、
今日もこの場所で“帝京大学”という個性が形づくられています。
そう、私たち、こんな風に日々を暮らしています—。

My Campus Life.

I ♥ Teikyo Life.

八王子キャンパスにはいつもメロウで心地よい時間が流れています。ゆっくりと自分と向き合ったり、友達と楽しく過ごしたり、それぞれが思い思いのスタイルで大学生活を楽しんでいます。



右 福田真美さん Mami Fukuda
 左 安達紗絵さん Sae Adachi
 帝京大学文学部教育学科3年生
 チアリーディング部では、福田さんがキャプテン、安達さんが副キャプテンを務める。福田さんの趣味は映画鑑賞で、特技はショッピングでの掘り出し物探し。安達さんの趣味は、音楽鑑賞。特技は、大学に入ってから本格的に始めた料理。残り物で作る料理は絶品とのこと。



右 横山優さん Yu Yokoyama
 左 飯島良紀さん Yoshinori Iijima
 帝京大学経済学部経済学科4年生
 キャプテンの飯島さんはワイドレシーバーを、横山さんはパイスを務める。飯島さんの夢は、これまでの経験を生かして、メーカーや施設など、スポーツ関係の仕事に就くこと。横山さんの夢は、時代に左右されない、むしろ逆境にあるような企業で、自分の能力を発揮すること。



TEDDY BEAR
 テディベアー

チームのユニフォームを着たクマのぬいぐるみは、ケガで大会に出られなくなった後輩が、試合前にプレゼントしてくれた、部員みんなの宝物。

ふたりの笑顔が、元気で楽しい帝京大生の証です!

チアリーディング部に所属する福田真美さんと安達紗絵さん。笑顔が素敵な二人に帝京大生の個性は? と訪ねると、「とにかく元気な人、楽しい人が多いことです!」と声をそろえる。そんなふたりもまた、元気な笑顔を絶やさず、楽しそうに話す姿がとても印象的だ。

「大学に入って一番良かったのは、友だちがたくさんできたことです。あと、ひとり暮らしを始めたことで、精神的に少し強くなれたかなって思います」という安達さんに、福田さんも続ける。

「大学生になって、少しずつ自立できるかな。前よりは、判断力がついたかなって思います。私にとっての大学は、自分が成長できる場所ですね。通学に2時間ぐらいかかるから、それがちょっと大変なんですけど(笑)」



HELMET
 ヘルメット

一年でボロボロになってしまう金色のヘルメットは、アメフト部の象徴的アイテム。思い思いのステッカーを貼り、勝利への願いを託す。

自由な校風を感じながら、仲間とグラウンドを駆ける

多くの部員たちと寮に住み込みながら、アメリカン・フットボールに打ち込む飯島良紀さんと横山優さん。全体練習をする時期ともなれば、日曜以外の毎日を練習に費やす。練習後のミーティングも含めると、解散が深夜に及ぶことも少なくないという。

「もちろん、大変です。でも、練習を重ねていくうちに投げられる人と受ける人の気持ちが変わるようになって、ここに飛んでくるな。っていうのが、わかるようになる。それが楽しいですね」と飯島さん。

帝京大学の印象を尋ねると、「誰もが明るくて、気軽に声をかけられそうな雰囲気ですね。自由で、縛られない大学」と声をそろえた。広いグラウンドを駆け抜ける二人には、そうした帝京大学の自由な校風が、いかにもしっくりときているようだ。



足立和彦さん Kazuhiko Adachi
 緑グリーンハウス
 帝京大学葛友館・2階学生食堂店長
 赴任して約2年半が経つ足立さんは、26歳の若き店長。安く・早く・量を多くというニーズに応えることはもちろん、新鮮な食材を使った、健康的なメニューを提供している。また、安全・衛生にも、細心の注意を払っている。学生たちの生の声をもっと聞きたいとのこと。



中江章浩先生 Akihiro Nakae
 帝京大学法学部教授
 東京大学法学部卒業。厚生省で年金・医療などの社会保障を担当したのち、神戸の市長選挙へ。2005年より帝京大学法学部の教授に就任。専門は社会保障で、担当するゼミのモットーは実践的で合理的な過去問研究に特化しているという。学内で好きな場所は書棚の広がる図書館。

学食を切り盛りする若き店長の活力源は、学生達の笑顔です!



ORIGINAL BREAD
 オリジナルブレッド

定食以外にも、オリジナルのパンが、女子学生たちを中心に人気を博す。写真は、足立さんもオススメの、イタリアンサンド(左)、十勝バタースティック(右中)、バニラメロンパン(右下)、アイス・オ・レ(右上)。

ランチを楽しむだけでなく、気の合う友人たちや先輩たちと、勉強のこと、部活のこと、未来のことなどを互いに語り合う学食は、いつの時代においても学生たちの大学生活を楽しく賑やかに彩る場所だ。「帝京大学の学食は、メニューが多いことが特徴です。毎日、10種類以上の日替わりメニューを提供しています。メニューを考えるのは大変ですが、やっぱり学生のみなさんに喜んでもらいたいから苦にはなりません」

そう語るのは、2階学食の店長を務める足立和彦さん。新しいメニューを出したときは、学生たちの反応を見てレシビに改良を加えることもしばしばとのこと。食を通して、学生たちに活力を与える立場の足立さんだが、当の本人の活力源といえば、何よりも学生たちの笑顔なのだという。

坂本龍馬はオレが育てる! 自分流の松下村塾をめざして。



SNEEKER
 スニーカー

帝京学内での「中江流」は、フットワークよく飛び回れるスニーカー。無駄を省き機能性を重んじる教授は、冬でもコートなしで過ごし、「自分流」を生活の中で実践している。

赴任前は、帝京大生のイメージが湧かなかったという中江章浩教授。自由奔放な雰囲気の新入生が多い印象だったそうだが、それは彼らが、人生の目標を持っていないだけだとわかった。「私が授業で行いたいのは、学生たちに、志を植え付けること。めざすのは、現代の吉田松陰です」

天下泰平に浮かれていた幕末に、山口県の田舎町に松陰が開いた松下村塾から、高杉晋作や伊藤博文ら維新の元勳が誕生している。今この時代こそ、松下村塾が必要なのだと教授は言う。

「目標は次世代の坂本龍馬を育てること。学生たちの反応は上々ですよ」

帝京大学のキャッチフレーズ「自分流」を意識した、「中江流」の志の授業。明日の日本の革命児が巣立つ日が実に楽しみだ。



帝京大学チアリーディング部・バッファローズ

Teikyo Cheerleader Buffaloes
黒と赤がチームカラーのチアリーディング部。試合前にこのユニフォームを着ると、それまでの出来事、特に厳しかった練習が思い出され、くっつきが入るのだ。現在の目標は、夏の全国大会で入賞すること。楽しそうな笑顔の裏で、懸命に練習に励んでいる。

「私は、今はまた将来の目標を探しているところ。それが見つかるまでは、まずは部活に集中して、きつちりとやり抜こうと思ってるんです」

「私の目標は、部活も一生懸命やりつつ、勉強もちゃんとして、夢である幼稚園の先生の免許を取得することです」という安達さんに、福田さんも続ける。

メンバーそれぞれが目標を持ちながら、部活動に励んでいるチアリーディング部。

「高校最後の大会が終わったとき、やっぱり悔いが残ってしまってたんです。そのときに、大学に入ってから、チアリーディングを続けようと思ったんです。でも、いまだに練習の前はいつも気が重い(笑)。あー、しんどいなー。って。始まっちゃえば、すごく楽しいんですけど」

メンバーそれぞれが目標を持ちながら、部活動に励んでいるチアリーディング部。安達さんはまったく反対だ。「高校最後の大会が終わったとき、やっぱり悔いが残ってしまってたんです。そのときに、大学に入ってから、チアリーディングを続けようとは思っていません」と話す。

「大学に入ってから、すぐにはやりたいことが見つからない

と、その笑顔がなによりも印象的だ。チアリーディング部のメンバーが、練習場所である体育館に姿を現すと、さっきまでの静けさが嘘のように、周囲がぱっと明るくなる。練習は、火金以外の16時すぎから20時までと土日の午前中から昼すぎまで。キャプテンの福田真美さんは高校時代から、副キャプテンの安達紗絵さんは中学からチアリーディング部に所属し現在に至る。

福田さんは高校時代、大学に入ってからチアリーディングを続けようとは思っていません」と話す。

Vol.01
Cheerleader

現在の3年生が、ちょうど5期生となる帝京大学チアリーディング部・バッファローズ。とにかく笑顔が絶えない元気いっぱいの彼女たちを見ていると、誰もが自然に笑顔になって、なんだか元気になってくる。みんなを応援して元気にさせるチアリーディング部は、やっぱりこうでなくっちゃね!

いま、何やってる?



羽田空港のチェックインカウンターが、大家さんの仕事場。週3回は早朝5時からカウンターに立っている。チェックインや発券、機内預け荷物の受け取りが中心だが、搭乗口でお客様を機内に案内することも。

文学部国際文化学科(現…外国語学部外国語学科)を卒業した大家奈都子さんは、航空会社に就職し、羽田空港で旅客係員を務めている。学生時代はどのように過ごされていましたか?

空の仕事を意識したのは、中学生のころ。英語が得意で、外国に憧れ、高校生の時には語学留学でカナダで生活したこともあるそう。

「出張等をご利用いただくお客様のように慌ただしくお見えになる方も多くいらっしゃいます。だからこそチェックインのやりとりの中で、ひとりでも多くのお客様に笑顔で目的地までお過ごしただきたい、と思うんです」

Vol.01 2004年3月卒業 大家 奈都子さん

羽田空港で旅客係員として働く先輩の任務は、空の安全を守ること。アイコンタクトと笑顔の魔法で、お客様を快適な旅へと誘います。

大家奈都子さん Natsuko Ooie スカイマーク旅客係員 1983年石川県生まれ。帝京大学を卒業後、スカイマーク株式会社に入社。羽田空港で地上係員として就業中。



放課後に友人達と過ごした時間は大切な思い出です。

3年の冬からスタートした就職活動は、航空会社をメインにかなり絞った。いろいろな人の話を、自分の将来像と重ねていく。そしてめでたくスカイマークの内定を得た。「入社前は華やかなサービス業というイメージでしたが、実際に仕事を始めると、お客様の安全を第一に考えなければい

やっぱ健康が一番です

Vol.01 この時期、新入生歓迎会が花盛り。

お酒飲み過ぎですが、何か?

満開の桜を楽しみながら、気の置けない仲間たちと乾杯するのは楽しいものです。しかしこの時期、成人を迎えた上級生の中には、気分が高揚してしまうのか、どうしてもお酒を飲み過ぎてしまう人を数多く見かけます。そんな訳で先生、お酒を飲み過ぎるとどうなるか、教えてください。

お酒はストレス解消やリラックス効果をもたらすものとして、生活の一部として親しまれています。しかし、飲みすぎはアルコール性肝障害や痛風などさまざまな病気を引き起こします。医学的に、飲酒は一日に日本酒換算で2合以内に留めるべきです。日本酒1合は、ビール大瓶1本、ワイン1/2本、ウイスキーダブル1杯、焼酎0.6合のアルコール量に相当します。これら1項目にでも当てはまれば、アルコール依存症の疑いがあります。

学生時代の飲酒で一番危険なのは、アルコール依存症です。ビール大瓶1本は約3時間かかります。アルコール依存症とは自分の意思で飲酒をコントロールできなくなり、飲酒を繰り返す状態です。①せめて今日だけは飲まないと思ってもつい飲んでしまう。②周囲の人から大酒のみと非難されたことある。③適量をやめられない。④男性・朝から酒を飲むことがある、女性・酒を飲まないと言わない。これらの項目にでも当てはまれば、アルコール依存症の疑いがあります。

これが急性アルコール中毒です。どんなことがあってもイッキ飲みは止めるべきで、また体質的に飲めない人をいたわる気持ちも大切です。つい飲み過ぎてしまうと、二日酔いになります。これは大量のアルコールが体内に入り、アセトアルデヒドが肝臓で充分に処理されないために起こります。二日酔いになるとこのアルコールやアセトアルデヒドの影響で自律神経のバランスが崩れ、動悸がしたり、不快な症状が起きます。さらに、血中の水分や電解質のバランスが崩れ、乳酸や尿酸などが増加して、のどがすくく渴きます。二日酔いには良い療法はありませんが、水分を摂ったり、アセトアルデヒドの分解に役立つ糖分やビタミンCをふく

どんなことがあってもイッキ飲みは止めるべき。

※お酒は20才になってから。



む果物などを食べるのは良いです。でも基本的には時間が解決してくれるのを待つしかありません。



滝川一教授 Hajime Takikawa 帝京大学医学部内科 1977年東京大学医学部卒業/日本消化器病学会関東支部長/日本肝臓学会幹事/日本消化器関連学会機構学術集会幹事/日本内科学会評議員/日本消化器内視鏡学会評議員

▶ Seminar

八王子キャンパスで 合同企業セミナー開催

八王子キャンパスでは、大学3年生・短大1年生を対象に学内合同企業セミナーを2月13日～16日の4日間、開催した。参加企業は243社と昨年より40社多く、参加学生も2547名と大盛況だった。例年就職した学生の多くがこのセミナー参加企業に内定している。

▶ DVD

学生が企画・制作した 「授業実践たんけん隊」DVD完成

学生が企画・制作をした授業紹介DVDが、2007年2月に完成。このDVDは、理工学部(宇都宮キャンパス)で進められているコース管理システム(CMS)を活用した授業改善の様子を学生の視点からまとめたもの。CMSはインターネットからアクセスできる学習支援システムだ。

DVDの企画・制作に携わったのは、当時の4年生 佐藤利恵さん、末吉暁子さん、上垣達哉君。昨年の夏から企画を始め、教員や学生に取材し、秋には理工学部映画研究会の協力を得て撮影を行ったという。企画を担当した末吉さんは、「普段感じている便利さや楽しさを形にすることができてよかったです」と話す。このDVDは無料で配布している。お問い合わせは本学理工学部ラーニングテクノロジー 開発室まで。

☎ 028-627-7243



▶ Contest

第5回MIL薬学生小論文コンクール、 最優秀賞は出来田知子さんに

今回で第5回を迎えた恒例の「MIL小論文コンクール」の入賞者が発表された。最優秀賞は帝京大学大学院1年生、出来田知子さんの「薬剤師のいる場所」。受賞した出来田さんは「薬剤師の活躍する場面を少しでも広げたい」と語った。



▶ Facilities

学生活動センター (仮称)が完成!

宇都宮キャンパスに学生活動の新施設、「学生活動センター(仮称)」が完成。この春発足する「理工学部学友会」の運営部などが、この施設の中で活動を行う予定。学食のパーティールームやテラスにも隣接した好立地を生かし、学生への活発なアプローチが期待される。

▶ Seminar

宇都宮キャンパスで 合同企業セミナー開催

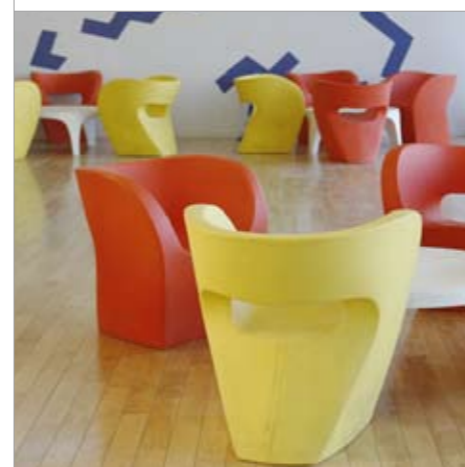
理工学部では2月14日～17日の4日間、第6回採用予定企業による学内合同企業説明会を開催し、参加企業は合計196社を数えた。景気の回復と共に各企業とも積極採用を予定しており、学生にとっては、幅広い選択が可能な状況に。

▶ Event

若手デザイナー目指し、 栃木県のイベントに参加

理工学部情報科学科3年生の小澤昂(こざわあきら)さんが、栃木県の主催する「若手デザイナー夢事業」に参加。この事業は栃木県内の中小企業の商品開発力向上とデザイン振興を図るため、自社製品の新しいデザインを希望する企業とデザイン制作を希望する学生とのマッチングを行うことを目的として行われた。

小澤さんが希望したのは日本酒パッケージのカテゴリー。栃木県内の大学、専門学校から合計26件の参加があり、学生らしい活発なデザインが披露された。発表者のほとんどがデザインを専攻しており、理工系大学からは小澤さんのみであった。「デザインは専門分野ではないので難しかったが、思いどおりの作品ができた。また機会があればチャレンジしたい」と小澤さんは話していた。



Notice Board

大学からのお知らせです

▶ Technology

宇都宮キャンパスCL教室他の パソコンが最新機種に更新

理工学部では、平成19年3月に4教室のコンピュータ約300台を最新のワークステーションに更新、サーバコンピュータもすべて一新した。これにより、授業目的に応じてさらに多様な学習環境を提供することが可能になった。

※CL=Computer Laboratory

▶ Technology

Web-CBTを用いた 総合評価試験が実施される

4年次の終わりにCBT(薬学共用試験)と呼ばれるコンピュータの全国共通試験がある薬学部は、平成19年2月、1年生を対象にコンピュータの進級試験を初のWeb-CBT形式で行った。1年次からこの形式の試験に慣れてもらうのが目的。

※CBT=Computer Basic Test



▶ Technology

宇都宮キャンパスに、 10kw太陽光発電設備が完成

宇都宮キャンパスでは、1月に太陽光発電システムを設置し稼働させている。60枚の多結晶シリコンパネルで取り込んだ太陽エネルギーを電気に変換させるこのシステムで作られた電気は、発電量がリアルタイムで確認でき、教育・研究にも利用できる。

▶ Technology

宇都宮キャンパスに、 電力監視システムが稼働

宇都宮キャンパスでは、1月に電力使用状況をインターネットで監視できるシステムを導入。最大電力の発生を予測して防ぐ他、待機電力を確認し経費の節減に生かせる画期的なシステムだ。玄関ホールには、電力使用量が確認できるモニターも設置された。

▶ Staff Credit

Produce (株)文化工房 モーグリーン	BUNKAKOBO MO GREEN
Planner 田畑浩平(株)文化工房 須藤 亮(MO GREEN)	Kohei Tabata Ryo Sudo
Illustrator Shu-Tang Grafix	Shu-Tang Grafix
Photographer 平野太呂 田尾沙織 鈴木真貴	Taro Hirano Saori Tao Maki Suzuki
Editor 赤堀雅子 大久保和則	Masako Akahori Kazunori Okubo
Art Director 井口 創(MO GREEN)	So Iguchi
Designer 岡村佳織(MO GREEN)	Kaori Okamura
Publisher 帝京大学本部入試室 広報グループ	TEIKYO University 広報グループ

Flair

発行月：2007年4月4日発行
発行：帝京大学本部入試室広報グループ
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL 03-3964-3073 FAX 03-3964-3175
E-mail: post@med.teikyo-u.ac.jp
URL: http://www.teikyo-u.ac.jp/theiteiky/
ご意見・ご要望をお待ちしております。
郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。
©帝京大学 2007 禁・無断転載

▶ Editor's Note

春は何かを始めるにはとても良い時期ですね。草木の芽が息吹き始め、陽の光もあたたかです。自然から不思議なパワーがもらえる季節です。入学や入社など、生活の中でも節目の多い春。特に節目のない人も、この時期を機に新しいことを始めてみたり、心を新たに何かに取り組んでみたりしてはいかがでしょう?今号からリニューアルしたFlairでは、今後も輝いている学生達や先生方、生活に役立つ情報を楽しく紹介していきたいと思えます。自分達取材してほしいという方や取り上げて欲しいテーマなどがありましたら、いつでもご連絡ください。編集に携わってみたいという学生も大歓迎です!(木村)

See You Next Issue!!

2007年7月上旬 Vol.02配布予定